

3時間で臨床疑問から背景執筆、図表作成まで： AI時代の研究デザイン実践ハンズオンセミナー

日 時：12月6日（土）9：00～12：00【部分参加可能】

会 場：ハンズオンセミナー会場1（ポートメッセなごや 第1展示館 1F 展示ホール ABC）

企 画：一般社団法人 臨床研究・ピアサポートグループ（SRWS-PSG）

責任者：片岡 裕貴（一般社団法人 臨床研究・ピアサポートグループ）

インストラクター（五十音順）：宋 龍平、辻本 康、阪野 正大、藤原 崇志、山本乃利男

【セミナー概要】

日々の臨床現場で感じる「これって研究になるのでは？」という疑問。そんな漠然とした気づきを、AIを活用しながら研究デザインから論文執筆まで体系的に形にする3時間集中プログラムです。

PubMed 収載 290 本以上の実績を持つ臨床研究・ピアサポートグループのノウハウを、あますことなくお伝えします。

各部は独立した内容となっておりますので、部分参加も可能です。ご都合に合わせてご参加ください。申込者には全ての資料を提供いたします。

【こんな方におすすめ】

- ・学会発表を1回以上経験し、論文執筆にチャレンジしたい方
 - ・論文を数本書いたが、さらにスキルアップしたい方
 - ・AIツールを研究に活用したいが、何から始めればいいのかわからない方
 - ・統計解析に苦手意識があるが、論文の図表作成を理解したい方
 - ・忙しい臨床業務の合間に、効率的な研究手法を学びたい方
- ※英語やプログラミングの事前知識は一切不要です！

【プログラム】 9：00～9：05（5分） 開会挨拶・セミナー概要説明

担当：辻本 康

9：05～9：55（50分） 第1部：臨床疑問の構造化と新規性チェック

- ・漠然とした疑問をAIを用いながら研究実施に向けてフレームに落とし込む
- ・自身の疑問について研究実施する意義がありそうかの新規性の確認方法

担当：辻本 康、藤原 崇志

9：55～10：05（10分） 休憩

10：05～10：55（50分） 第2部：先行研究調査と背景執筆

- ・トップジャーナルに掲載された某論文のRQを提示します
- ・提示されたRQに関するWhat's knownを調べよう
- ・生成AIを用いて
 - ・Keyになる論文を見つけよう
 - ・見つけた論文を読み解こう
 - ・新規性のロジックを作ろう
 - ・What is known?
 - ・What is unknown?
- ・実際の論文の背景と自分の作った背景を比べてみよう

担当：山本乃利男、宋 龍平

10：55～11：05（10分） 休憩

11：05～11：55（50分） 第3部：解析のリバースエンジニアリング

- ～論文の統計解析を“逆再生”して、その場で図表を再現～
- ・論文の「方法」セクションを元に、統計解析コードを自動生成
- ・プログラミング知識不要！
- ・AIが書いたコードをその場で実行・生成された図表と論文の図表を見比べて答え合わせ
- ・「論文がどう作られているか」を体感できる、驚きの50分！

担当：片岡 裕貴、阪野 正大

11：55～12：00（5分） 終了挨拶・質疑応答

【注意事項】

- ・実践的なハンズオンセミナーとなりますので、ノートパソコンをご持参ください。
- ・なお、会場の制約により給電は困難なことが予想されます。事前に充電をお願いいたします。
- ・会場のWiFiのみでは通信速度が遅くなる可能性もあることをご承知おきください。

申 込：事前登録制

定 員：60名

受講料：3,000円